

宇都宮工場

1. 事業概要

住所	〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地22-2
従業員数	431名 (2020年12月現在)
敷地面積	145,479m ² (建築面積77,197m ²)
操業	1969年5月
事業内容	当工場は、当社で国内唯一のコンバイン・乗用田植機という作業機の製造をしている工場です。 これら製品は季節性を特徴としており、工場ではお客様が必要なときに、必要なものを必要なだけ出荷できるモノづくり、すなわち年間を通じ量変動をさせる生産体制をとっております。 また海外に関しては、中国・タイ製造拠点でのマザー工場であり、アジアを中心にグローバルな事業展開をする上で、核となる工場となっております。 作業機以外に歩行型トラクタ、業務用加湿空気清浄機(ピュアウォッシャー)の生産も行っています。



主要製品

・コンバイン



・田植機



・歩行型トラクタ



・業務用加湿空気清浄機



宇都宮工場

2.環境方針

ISO環境方針
<p>理 念</p> <p>私たちは「地球規模で持続的な発展が可能な社会」「企業と市民が相互信頼のもとに共生する社会」の実現をめざし、地球環境の保全に配慮した企業活動を行います。</p>
<p>方 針</p> <p>宇都宮工場は、農業機械及び周辺機器の製造とサービスにおけるあらゆるプロセスにおいて環境マネジメントシステムを確立・維持することにより、地球環境の保全に配慮した企業活動を実施いたします。</p>
<p>具体的推進案</p> <ol style="list-style-type: none">1. 原材料の購入から使用、廃棄、回収と生産及びサービスの各段階において汚染の予防に努めます。また、生産方法の改善、使用原材料の見直し等、長期的で幅広い観点からの施策を実施し、環境負荷の継続的改善に努めます。2. 国、地方自治体等の環境関連法・条例規制の遵守は勿論のこと、同意したその他の要求事項についても自主管理基準を設定し、維持することに努めます。3. 環境負荷を低減するために、技術的、経済的に可能な範囲で達成すべき目標を定め、確実に実施するための環境マネジメントプログラムを明確にします。また、その実施状況を定期的に確認し、見直しを行うように努めます。4. 環境管理活動の重要性を全従業員（従業員、協力会社社員、派遣社員、請負者含む）に徹底し、環境保全に対する意識の向上に努めます。5. 地域での環境保全活動への参画、支援に積極的に取り組み、地域との共生に努めます。6. この環境方針は、社会への責任を示すために、一般の人が求めに応じて入手可能なものとします。
<p style="text-align: right;">2021年 1月1日 株式会社クボタ宇都宮工場 工場長 小西 芳典</p>

ISO認証取得状況
<p>ISO14001認証を2000年12月に取得しました。そして2017年12月に2015年度版への更新を完了しました。6か月ごとの外部サーベイランスと年2回の内部監査を実施して、環境マネジメントシステムの適切性を評価しています。</p> <p>内部監査員は監査員教育を受けたメンバーで構成し、相互監査を通じて環境保全のレベルアップに取り組んでいます。</p>
<p>2000年12月 ISO14001 認証取得</p> <p>2005年 6月 2004年度版移行審査受審</p> <p>2006年12月 第2回更新審査終了</p> <p>2009年12月 第3回更新審査終了</p> <p>2012年12月 第4回更新審査終了</p> <p>2015年 9月 第5回更新審査終了</p> <p>2017年12月 2015年度版へ移行</p> <p>2018年12月 第6回更新審査終了</p>

宇都宮工場

3.サイトデータ(2020年1月～12月の実績)

INPUT

※製品に充てんした燃料も集計対象に加えています。

エネルギー使用量	原油換算 KL	2,638
水使用量	万m ³	8.5

OUTPUT

エネルギー起源CO ₂ 排出量	t-CO ₂	5,050
----------------------------	-------------------	-------

排出ガス	主要ばい煙発生施設		ボイラー		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値
SO _x	—		硫黄分ゼロの都市ガス使用		
NO _x	ppm		濃度規制	150	15未満
ばいじん	g/m ³ N		濃度規制	0.1	0.001

排水量	合計量	万m ³	13.1
汚濁負荷量	COD	kg/年	—
	窒素	kg/年	—
	りん	kg/年	—

排水	放流先	項目	単位	末端排水口	
				規制値	測定値
公共用水域		pH	最小値, 最大値	5.8～8.6	7.0, 7.8
		BOD	mg/ℓ	25	6
		COD	mg/ℓ	—	—
		窒素	mg/ℓ	—	—
		りん	mg/ℓ	—	—
		六価クロム	mg/ℓ	—	—
		鉛	mg/ℓ	—	—
		COD総量規制値	kg/日	—	—
		窒素総量規制値	kg/日	—	—
		りん総量規制値	kg/日	—	—
下水道		pH	最小値, 最大値	—	—
		BOD	mg/ℓ	—	—
		COD	mg/ℓ	—	—
		SS	mg/ℓ	—	—

廃棄物排出量	t	341
再資源化率	%	99.8

VOC排出量	t	17
--------	---	----

PRTR法対象物質集計結果

単位: kg/年

政令No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
53	エチルベンゼン	3,244	0.0	0.0	0.0	0.0	2,510
80	キシレン	6,992	0.0	0.0	0.0	0.0	5,409
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	5,187	0.0	0.0	0.0	0.0	4,013
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	1,337	0.0	0.0	0.0	0.0	1,034
300	トルエン	180	0.0	0.0	0.0	0.0	139
302	ナフタレン	1,229	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ 拠点ごとの年間取扱量が1t(特定第1種は0.5t)以上の物質について集計

宇都宮工場

4.環境トピックス

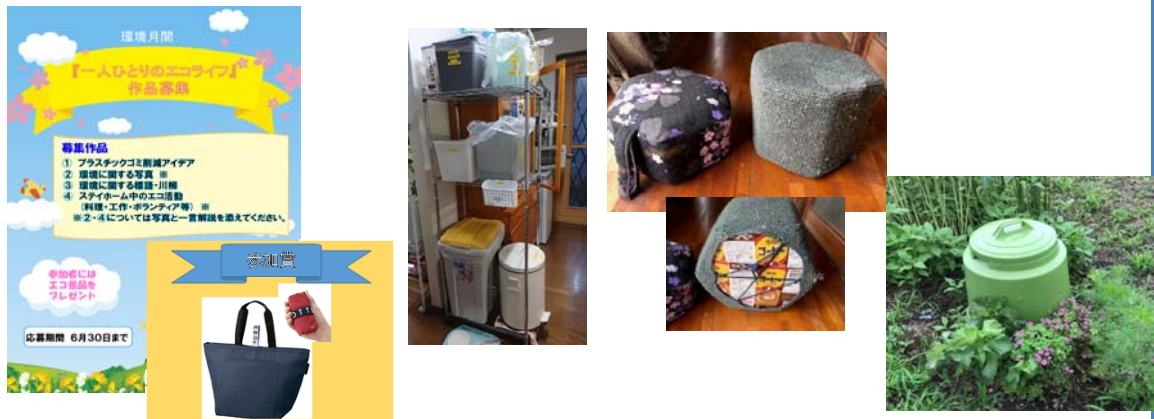
①環境パトロール

環境事故や法令違反の未然防止を目的に環境パトロールを1回/2ヶ月実施しています。

実施回	実施日	重点項目	指摘事項（改善策）
第1回	1月15日	オイル供給施設RA	・屋外タンクから貯蔵所経路の一部が地下トレンチ経由だったものを上へ移設し漏洩発見容易に変更 ・Cライン危険物倉庫にフロートスイッチを設け、漏洩時に自動通報できるものとした。
第2回	3月4日	環境施設運用確認	・管理値、使用量の表記、保管庫の整理
第3回	7月30日	スポットクーラー自主点検状況確認	・点検の未実施 ・点検表に未登録 ・無人場所で稼働
第4回	9月25日	塗装場バルブ開閉表示運用	・表示札が無い ・表示札破損

②「一人ひとりのエコライフ」

6月の環境月間にあわせて、一人ひとりが取り組む「エコライフ」を募集し、全従業員に紹介する事で、環境について関心と理解を深める活動をおこないました。



5.環境コミュニケーション

当社の企業活動は顧客および地域住民の協力なくして成り立たないと認識し、下記活動などを通じて地域との融和に努めています。



回収したごみは分別・分析し工場内に結果を配信

工場外周クリーンアップ活動

QCサークル環境担当者が隔月で工場外周の美化活動を行っています。